

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

| ※受理番号 | 学 校 | 教 科 | 種 目 | 学 年 |
|----------------|----------------|-------|-------|-----|
| 107-91 | 高等学校 | 地理歴史科 | 日本史探究 | |
| ※発行者の 番号・略称 | ※教科書の 記号・番号 | ※教科書名 | | |
| 2 東書 | 日探 002-901 | 日本史探究 | | |

1. 編修の基本方針

1. 歴史の変化を広い視野で捉えさせ、主体的な歴史学習が展開できる教科書

- ・本文記述では、内容の精選や平易な表現での叙述に努めるとともに、事象の背景などを丁寧に説明することで、各時代の特色や歴史の変遷を大きな枠組みで捉えられるように心がけた。
- ・各項の冒頭に学習課題の事例を提示することで、問題意識を持って学習に取り組めるようにした。また、各編の第1章では時代を見通す問いの設定、第2章ではその問いをもとに検討した仮説の表現を、それぞれ学習活動として促すとともに、適切な事例を示すことで、探究的な学習活動を段階的に深められるような構成にした。
- ・学習内容に興味・関心を深めるためのコラムや特設ページ「歴史を探る」を各所に設置し、各時代の特色や歴史的な変遷についての理解を深められるようにした。

2. 歴史的な見方や考え方を働かせ、資料を活用して考察・表現する力を培う教科書

- ・本文記述を補完するための注記や資料を的確に配置しており、それぞれ端的でわかりやすい説明を付した。また、掲載資料については、読み取りのための視点を適宜提示しており、学習内容を追究するために効果的に活用できるよう配慮した。
- ・各編の第2章では、仮説の表現につながるような多様な資料を提示するとともに、読み取りのための視点を丁寧に記述しており、学習者が資料に親しみ、活用する力を自然と身に付けることができるような構成にした。

3. 歴史学習を通して、現代社会に主体的に生きる自覚と資質を養う教科書

- ・第4編第4章「現代の日本の課題の探究」では、現代日本の抱える諸課題について多様な資料をもとに考察を深めていく構成をとっており、学習者が歴史の当事者としての意識を持ち、よりよい社会の実現に向けた課題の克服に向き合う意欲を育めるようにした。
- ・各所に設置された「世界を見た日本人」や「特集」では、先人に対する敬意や我が国および他国の歴史・文化を尊重する態度を育てるとともに、歴史的な事象からさまざまな教訓を得ることによって、国際社会で主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養うことをめざした。
- ・学習した内容を生活空間や地域社会につなげるための特設ページ「地域の窓」を各編に設置するとともに、日本各地に残る遺跡や文化財等の写真を適宜掲載しており、地域社会との関わりや文化財保護の重要性について理解できるようにした。

2. 対照表

| 図書の構成・内容 | 特に意を用いた点や特色 | 該当箇所 |
|---|--|------|
| ■巻頭 古代の行政区画 ■第1編 先史・古代の日本と東アジア 第1章 先史社会の生活と文化 第2章 歴史資料と先史・古代の展望 | 幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した(第1号)。 | 全体 |

| | | |
|--|--|---|
| <p>第3章 古代社会の形成と展開</p> <p>1節 律令国家の形成と古代文化の展開</p> <p>2節 撰関政治と貴族文化</p> | <p>学習課題の事例を各項の冒頭に提示したり、時代を通観する問いや仮説の事例を設置したりすることで、自主的かつ意欲的に探究的な学習活動に取り組めるように配慮した(第1号・第2号)。</p> | 全体 |
| | <p>各時代の人々がさまざまな職業に従事して生活している様子が読み取れる資料を各所に提示しており、学習者の勤労観を育むようにした(第2号)。</p> | 11、26～27、35、37、40～41、55ページなど |
| | <p>人々の主体的な参画によって社会の形成・変容が促された歴史的事実を叙述し、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うようにした(第3号)。</p> | 全体 |
| | <p>我が国が太古から豊かな自然に恵まれ、先人が自然条件に適応しながら社会生活を営んできたことについて記述し、こうした環境をこれからも保全していこうとする態度を養うようにした(第4号)。</p> | 6～13、16、38、47ページなど |
| | <p>各時代の文化のページを中心に、国宝や文化財、世界文化遺産の事例を取り上げるなどして、我が国や郷土の伝統と文化への理解を深めるとともに、それらを尊重し、保存・継承に努めていく態度を養うようにした(第5号)。</p> | 5、8、11、14、16～17、25、30～31、34～35、44～45、50～52、58～61ページなど |
| | <p>先人がさまざまな困難を克服して現在に至る社会を築き上げたことや、海外との交流の中でさまざまな文物を取り入れつつ独自の文化を形成してきた点などにふれ、我が国の伝統や文化への愛着を持つとともに、他国の歴史や文化について理解・尊重する態度を養えるようにした(第5号)。</p> | 12、14～15、18～19、28～35、43～45、57～59ページなど |
| <p>■第2編 中世の日本と世界</p> <p>第1章 中世社会の成立</p> <p>第2章 歴史資料と中世の展望</p> <p>第3章 中世社会の展開</p> <p>1節 武家政権の成立と朝廷</p> <p>2節 武家支配の広がり と国際交流</p> | <p>幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した(第1号)。</p> | 全体 |
| | <p>学習課題の事例を各項の冒頭に提示したり、時代を通観する問いや仮説の事例を設置したりすることで、自主的かつ意欲的に探究的な学習活動に取り組めるように配慮した(第1号・第2号)。</p> | 全体 |
| | <p>各時代の人々がさまざまな職業に従事して生活している様子が読み取れる資料を各所に提示しており、学習者の勤労観を育むようにした(第2号)。</p> | 63、65、82～83、90、95、104～107、115～116、119ページなど |
| | <p>人々の主体的な参画によって社会の形成・変容が促された歴史的事実を叙述し、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うようにした(第3号)。</p> | 全体 |
| | <p>先人が自然条件に適応しながら社会生活を営んできたことについて記述し、こうした環境をこれからも保全していこうとする態度を養うようにした(第4号)。</p> | 83、90、102～105ページなど |

| | | |
|---|---|--|
| | 各時代の文化のページを中心に、国宝や文化財、世界文化遺産の事例を取り上げるなどして、我が国や郷土の伝統と文化への理解を深めるとともに、それらを尊重し、保存・継承に努めていく態度を養うようにした(第5号)。 | 63、71、82、92～94、114～120ページなど |
| | 先人がさまざまな困難を克服して現在に至る社会を築き上げたことや、海外との交流の中でさまざまな文物を取り入れつつ独自の文化を形成してきた点などにふれ、我が国の伝統や文化への愛着を持つとともに、他国の歴史や文化について理解・尊重する態度を養えるようにした(第5号)。 | 70、76～77、94、100～103、107、120ページなど |
| ■第3編 近世の日本と世界 第1章 近世社会の形成 第2章 歴史資料と近世の展望 第3章 近世社会の展開 1節 幕藩体制の確立 2節 近世社会の成熟と幕藩体制の動揺 | 幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した(第1号)。 | 全体 |
| | 学習課題の事例を各項の冒頭に提示したり、時代を通観する問いや仮説の事例を設置したりすることで、自主的かつ意欲的に探究的な学習活動に取り組めるように配慮した(第1号・第2号)。 | 全体 |
| | 各時代の人々がさまざまな職業に従事して生活している様子が読み取れる資料を各所に提示しており、学習者の勤労観を育むようにした(第2号)。 | 134～135、143～147、150～151、154～158、162～165、178、181ページなど |
| | 人々の主体的な参画によって社会の形成・変容が促された歴史的事実を叙述し、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うようにした(第3号)。 | 全体 |
| | 先人が自然条件に適応しながら社会生活を営んできたことについて記述し、こうした環境をこれからも保全していこうとする態度を養うようにした(第4号)。 | 146～147、154～155、162～165ページなど |
| | 各時代の文化のページを中心に、国宝や文化財、世界文化遺産の事例を取り上げるなどして、我が国や郷土の伝統と文化への理解を深めるとともに、それらを尊重し、保存・継承に努めていく態度を養うようにした(第5号)。 | 130～131、142、159～161、166～168、173～175、180～181ページなど |
| | 先人がさまざまな困難を克服して現在に至る社会を築き上げたことや、海外との交流の中でさまざまな文物を取り入れつつ独自の文化を形成してきた点などにふれ、我が国の伝統や文化への愛着を持つとともに、他国の歴史や文化について理解・尊重する態度を養えるようにした(第5号)。 | 122～124、130～131、136～137、146～150、172～173、178～180、182ページなど |
| ■第4編 近現代の地域・日本と世界 第1章 近代社会の幕開け 第2章 歴史資料と近現代の展望 第3章 近現代社会の展開 1節 近代的制度の導入と新しい国際関係 2節 国民国家と資本主義の成立 | 幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を丁寧に記述した(第1号)。 | 全体 |
| | 学習課題の事例を各項の冒頭に提示したり、時代を通観する問いや仮説の事例を設置したりすることで、自主的かつ意欲的に探究的な学習活動に取り組めるように配慮した(第1号・第2号)。 | 全体 |

| | | | | |
|-------------------------------------|---|--|--|---|
| 3節 両大戦間期の日本 | 各時代の人々がさまざまな職業に従事して生活している様子が読み取れる資料を各所に提示しており、学習者の勤労観を育むようにした(第2号)。 | 194～197、200～205、222～224、238～239、282～285、290～293、304～307ページなど | | |
| 4節 第二次世界大戦と日本 | | 人々の主体的な参画によって社会の形成・変容が促された歴史的事実を叙述し、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うようにした(第3号)。 | 全体 | |
| 5節 占領と改革 | | | 歴史の中での環境保全や公害問題などを適宜取り上げ、生命を尊重する態度や環境問題の解決に向けた姿勢を養うように留意した(第4号)。 | 234、241、278、283～284、296、302など |
| 6節 国際社会への復帰と高度経済成長 | | 各時代の文化のページを中心に、国宝や文化財、世界文化遺産の事例を取り上げるなどして、我が国や郷土の伝統と文化への理解を深めるとともに、それらを尊重し、保存・継承に努めていく態度を養うようにした(第5号)。 | | 226～229、238～240、275、284～285、294、302、306～307ページなど |
| 7節 アジア情勢の変化と経済大国日本 | | | | 先人がさまざまな困難を克服して現在に至る社会を築き上げたことや、海外との交流の中でさまざまな文物を取り入れつつ新たな文化を形成してきた点などにふれ、我が国の伝統や文化に愛着を持つとともに、他国の歴史や文化についてもこれを理解・尊重し、今後の国際社会で果たすべき役割を考えられるようにした(第5号)。 |
| 8節 新しい国際秩序と日本の課題 第4章 現代の日本の課題の探究 | | | | |

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・コラムや特設ページ「歴史を探る」を各所に設けるとともに、写真・地図・図表などを豊富かつ大きく見やすく掲載することなどで、生徒が主体的・意欲的に探究的な学習活動に取り組めるように配慮した。
- ・二次元コードから、文献史料の現代語訳を利用できるようにし、教科書の内容をより理解できるようにした。
- ・ユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用し、文字の視認性を高め、読み取りやすさを向上させた。
- ・地図やグラフなどではカラーユニバーサルデザインに配慮し、色覚特性などにかかわらず学習を進められるよう留意した。
- ・再生紙と植物油インキを使用し、環境に配慮した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

| ※受理番号 | 学 校 | 教 科 | 種 目 | 学 年 |
|----------------|----------------|----------|-------|-----|
| 107－91 | 高等学校 | 地理歴史科 | 日本史探究 | |
| ※発行者の 番号・略称 | ※教科書の 記号・番号 | ※教 科 書 名 | | |
| 2 東書 | 日探 002-901 | 日本史探究 | | |

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1. 地理的条件や世界の歴史と関連付けた総合的な理解と諸資料を活用する技能の育成

- ・各時代のアジアや世界の状況を示す地図や記述を各所に掲載し、地理的条件や世界の歴史と関連付けて学習が展開できるように配慮した。
- ・巻末年表では、世界史の内容についても詳述し、同時代に世界でどのようなできごとが起こったか認識できるようにした。
- ・教科書に掲載している資料には、資料の内容を解説しただけでなく、適宜、資料を読み取らせる際の視点を示し、資料を活用しながら学習に取り組めるようにした。

2. 諸事象の歴史的な意味や意義、歴史上の諸課題に関する考察や構想への配慮

- ・節の冒頭では「課題」を設け、当該の時代で追究する内容を明示するとともに、その時代で学習する内容を見通すことができるようにした。
- ・各編第1章では、中学校で学習した内容を踏まえ、時代の転換を捉えられるように記述した。また、章末では、「問いを立ててみよう」で問いを例示し、「歴史総合」で習得した「歴史の学び方」を活用して、「時代を通観する問い」を立てられるようにした。
- ・各編第2章では、各時代で特徴的な政治や経済、国際関係に関する適切な諸資料を掲載し、時代の特色をつかめるようにした。また、章末部では、「仮説を立ててみよう」で仮説を例示し、時代の特色についての仮説を表現できるようにした。
- ・各編第3章では、第1章で立てた「時代を通観する問い」や第2章で表現した仮説を踏まえた主題を設定し、適切な資料を掲載することで歴史をより深く理解できるようにした。
- ・科目のまとめである「現代の日本の課題の探究」では、「社会や集団と個人」「世界の中の日本」「伝統や文化の継承と創造」の主題に関し、持続可能な社会の実現を視野に入れた日本の現代的な諸課題を取り上げた。
- ・各所に配置された「特集」では、現代の課題となっている「地震」「感染症」「ジェンダー」のテーマを取り上げることで、これらの事例がこれまでの日本の歴史と深く関わってきたことを理解できるようにした。

3. 日本の伝統と文化についての認識の尊重

- ・それぞれの地域の特徴的なできごとや事例を扱った特設ページ「地域の窓」を設け、学習者の身近な地域にも視点を向けることができるよう工夫した。
- ・日本だけでなく世界にも目を向けて交流を行っていた人物を取り上げた特設ページ「世界を見た日本人」を設けた。
- ・さまざまな視点のコラムや特設ページを設け、日本の伝統と文化についての認識を深めるとともに、歴史を多面的・多角的に思考・判断・表現する力を養成し、国際社会を主体的に生き抜くための歴史認識の育成を図った。
- ・各時代の文化について記述したページや第4編第4章の「伝統や文化の継承と創造」を中心に、国宝や文化財、世界文化遺産の事例などを数多く提示し、これらについての興味・関心を喚起するとともに、次代に保存・継承していく意識を涵養することや、その意義について考察できるようにした。

4. 特別支援教育に関わる適切な配慮

- ・教科書全体を通してユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用し、文字の視認性を高め、読み取りやすさを向上させた。
- ・色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用するとともに、グラフや地図などでは、図中に内容を直接示すようにしたり、読み取りづらい線種を減らしたりした。

2. 対照表

| 図書の構成・内容 | 学習指導要領の内容 | 該当箇所 | 配当 時数 |
|---------------------|---------------|------------|----------|
| 第1編 先史・古代の日本と東アジア | | 5～62ページ | 19 |
| 第1章 先史社会の生活と文化 | 内容A-(1) | 6～15ページ | 4 |
| 第2章 歴史資料と先史・古代の展望 | 内容A-(2) | 16～21ページ | 2 |
| 第3章 古代社会の形成と展開 | 内容A-(3) | 22～62ページ | |
| 1節 律令国家の形成と古代文化の展開 | | 22～47ページ | 8 |
| 2節 摂関政治と貴族文化 | | 48～62ページ | 5 |
| 第2編 中世の日本と世界 | | 63～120ページ | 21 |
| 第1章 中世社会の成立 | 内容A-(3)、B-(1) | 64～71ページ | 4 |
| 第2章 歴史資料と中世の展望 | 内容B-(2) | 72～77ページ | 2 |
| 第3章 中世社会の展開 | 内容B-(3) | 78～120ページ | |
| 1節 武家政権の成立と朝廷 | | 78～95ページ | 7 |
| 2節 武家支配の広がりや国際交流 | | 96～120ページ | 8 |
| 第3編 近世の日本と世界 | | 121～182ページ | 22 |
| 第1章 近世社会の形成 | 内容C-(1) | 122～131ページ | 4 |
| 第2章 歴史資料と近世の展望 | 内容C-(2) | 132～137ページ | 2 |
| 第3章 近世社会の展開 | 内容C-(3) | 138～182ページ | |
| 1節 幕藩体制の確立 | | 138～161ページ | 8 |
| 2節 近世社会の成熟と幕藩体制の動揺 | | 162～182ページ | 8 |
| 第4編 近現代の地域・日本と世界 | | 183～307ページ | 43 |
| 第1章 近代社会の幕開け | 内容D-(1) | 184～193ページ | 4 |
| 第2章 歴史資料と近現代の展望 | 内容D-(2) | 194～199ページ | 2 |
| 第3章 近現代社会の展開 | 内容D-(3) | 200～303ページ | |
| 1節 近代的制度の導入と新しい国際関係 | | 200～213ページ | 4 |
| 2節 国民国家と資本主義の成立 | | 214～235ページ | 7 |
| 3節 両大戦間期の日本 | | 236～249ページ | 5 |
| 4節 第二次世界大戦と日本 | | 250～265ページ | 6 |
| 5節 占領と改革 | | 266～275ページ | 3 |
| 6節 国際社会への復帰と高度経済成長 | | 276～287ページ | 4 |
| 7節 アジア情勢の変化と経済大国日本 | | 288～295ページ | 2 |
| 8節 新しい国際秩序と日本の課題 | | 296～303ページ | 2 |
| 第4章 現代の日本の課題の探究 | 内容D-(4) | 304～307ページ | 4 |
| | | 計 | 105 |